令和７年度　青少年育成県民会議表彰受賞者・団体

【青少年育成指導者の部】

氏　名（市町村）	活　動　の　主　な　内　容
谷　口　孝　子 （鹿児島市）	昭和３９年に郡山地区更生保護女性会に入会され，「青少年に母の愛を」のスローガンのもと，現在，会長として，子育て支援やボランティア活動，更生保護活動等に積極的に携わり，会員から厚い信頼を得ている。 郡山小学校で取り組んでいる放課後の見守り活動の発起人であり，子どもたちの宿題を見たり，トランプや折り紙，お手玉などで仲間づくりや見守りなどの活動を行っている。また，花尾小学校での，餅つき行事やあいさつ運動，家庭科のミシン実習の手伝いなどの学校支援活動のほか，更生保護法人草牟田寮の給食のない土日の食事の提供など，継続的に取り組まれている。 人の子も自分の子同様に子育てに力を入れ，「近所のおばちゃん」として子どもたちからも慕われ，幅広い世代との交流の中で組織作りや後進の育成にも力を注力されている。
松　元　正　明 （南さつま市）	南さつま市青少年育成センター運営協議会及び南さつま市市民会議の委員や会長として，長年にわたり地域の青少年育成に努めている。 竹灯籠づくり，十五夜太鼓踊り，鬼火焚きなどの継承活動のほか，青少年への声かけや補導活動，環境美化等に取り組まれている。 また，小湊中央太鼓踊り保存会会長として伝統芸能の継承活動に献身的に取り組み，多くの育成指導者の手本となっている。 その他，子どもみらい協議会やいろは歌に学ぶ青少年育成市民会議の委員としても活躍され，南さつま市の生涯学習推進や安心・安全なコミュニティづくりの発展に大きく貢献している。
松　下　勝　志 （出 水 市）	平成１４年に（社）青少年育成国民会議認定の青少年育成アドバイザーの資格を取得し，県青少年育成アドバイザー連絡協議会の会員，副会長として組織運営に尽力された。 児童・生徒への声かけや見守り，補導活動，街頭キャンペーン等に取り組んだほか，中・高校生を対象にした「青少年の現状と本音を知る会」を開催し，青少年が抱える悩みや課題等を探り，課題解決に向けた活動にも取り組んでいる。 さらに，出水市の民生委員，児童委員として福祉の増進を図ったほか，鹿児島県青少年育成県民会議事業への協力や北薩地域環境づくり懇談会への参加など，県全体の健全育成や青少年を取り巻く環境浄化にも取り組んでいる。
出　水　昭　彦 （姶 良 市）	平成１０年に北子ども会（蒲生町）育成会会長及び蒲生町子ども会育成連絡協議会会長に就任後，長きにわたってスポーツ大会の開催や高齢者とのふれあい活動，レクリエーション行事など，自ら先頭に立って企画・運営し，町と子ども会の活性化や青少年育成に努めてこられた。 また，市町村合併による姶良市の誕生に伴い，姶良市子ども会育成連絡協議会会長に就任し，市子連の組織づくりをはじめ，旧三町の特色ある行事を市全体に広げるなど，市子連の基盤づくり及び振興発展に大きく貢献されている。 さらに令和２年度からは，姶良・伊佐地区子ども会育成連絡協議会会長に就任され，地区子連の発展にも寄与されている。
光　　秋　広 （中種子町）	長年にわたり，単位子ども会活動や校区子ども会活動に積極的に携わり，子ども会活動の発展に寄与している。 また，校区子ども会育成会長やＰＴＡ会長を歴任後は，中種子町の子ども会育成連絡協議会の役員として，協議会の運営や開催行事に尽力された。 特に町子ども会主催の親子ふれあいスポーツ大会では，当時流行していた「キンボール」を取り入れるなど，時代の流れに沿った新しい活動を積極的に進めた。 さらに子ども会活動と併せて，納官剣道スポーツ少年団の指導者としても活躍され，近年は町の剣道連盟会長として後継者の育成にも尽力されている。 地域活動にも積極的に関わり人望も厚い，リーダー的存在である。

【青少年の部（一時的善行）】

氏　名（市町村）	活　動　の　主　な　内　容
荒　田　　彩　雅 井　川　　蓮　音 川　口　　泰　河 （薩摩川内市）	令和６年７月９日午後４時頃，樋脇町塔之原にあるコンビニエンスストア駐車場内で高齢男性が倒れているのを発見し，男性に駆け寄って声かけをし，店員に119番通報を依頼した。その後，通りかかった一般女性と共に，手持ちのタオルや体を使って日陰を作るなどの措置を講じた。 傷病者には出血がみられたため，所持していたタオルで受傷部位の保護を行い，救急車到着までの見守り及び救急車誘導を行った。 傷病者は高齢で，高温多湿の状況の中，長時間高温環境下にあった可能性があったが，迅速な119番通報依頼及び適切な救護措置により大事には至らなかった。

【青少年育成団体の部】

団 体 名（市町村）	活　動　の　主　な　内　容
湧水町更生保護女性会 （湧 水 町）	平成１６年の設立時から犯罪・非行の未然防止の啓発活動や犯罪をした人，非行のある少年の改善更生に協力するボランティア団体として，行政や関係機関団体と連携し，更生保護活動はもとより，青少年育成・子育て支援活動を実践している団体である。 活動内容は， ①　JR 吉松駅の花壇の設置やホーム，待合室，トイレ等の清掃活動の実施。 ②　町内の幼稚園で七夕飾りの手伝いや保護者のための育児相談など，子育て支援を実施。 ③　鹿児島刑務所の運動会や矯正展での手伝いや青少年育成に関するパンフレット等の配布。 ④　社会を明るくする運動などの非行防止活動の各種行事や大会等への参加。
本村・東目子ども会育成会 （中種子町）	自治公民館を中心とする地域ぐるみでの活動が活発に行われ，現在も「地域で子どもを育てる」という環境が伝統として引き継がれている。 敬老会や十五夜行事においては，中・高校生が中心となって余興を行うなど自主的な活動も見られ，異年齢交流が日常的に行われている。 また，集落行事の中心には常に子どもたちがおり，子ども会育成会が積極的に集落を盛り上げ，地域活性化の一翼を担っている。 少子高齢化が進み会員数が著しく減少している状況にあるが，地域と子ども会が一体となることで活動を継続し，子ども会組織を保持することができている。